

脈々 ^{スピリッツ} 高蔵 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「心の芽を培養発育せよ」

身のこなしは軽やかで、人との付き合いもそつがないが、ただそれだけの薄っぺらな若者が多くなった。

感じたことをすぐ口にするから、考えるという回路がなく、従ってその習慣もない。気付きを自分の成長のための確かな糧とするためには、それが熟するまで胸の中で温めなくてはならぬ。

沈黙はまさに金である。

花を開き実を結ぶのは偶然のことではなく、雨に打たれ風に堪えて力の屈しなかった賜である。 (「藪椿」12-27)